

全体	24
個別	05-01

平成28年度 [福祉保険部] 目標の成果

課名	福祉課
----	-----

No.	項目	高齢者福祉及び障がい者の生きがいの創出
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 高齢者が暮らしやすい環境整備と生活支援の推進を図ります。 ・障がい者福祉サービス 地域において自立した生活が営まれるよう、必要に応じたサービスの提供に努めます。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 在宅の高齢者が自立した生活を安心して送ることができるよう、高齢者福祉サービス（高齢者生活支援事業・福祉のまちづくり推進事業）の充実を図ると共に地域の関係者で構成された高齢者虐待防止ネットワークを活用し、高齢者の孤独死「ゼロ」並びに高齢者虐待の発生予防・早期発見に努めてまいります。 ・障がい者福祉サービス 障がい者が地域で生活していくための各種サービスの充実を図ると共に、複雑・多様化する障がい者のニーズに対応できるよう、職員研修等の充実を図り、柔軟に対応できる職員の育成に努め、苦情「ゼロ」を目指します。
	2. 実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 関係機関と連携を密にし、平成28年度において、食の自立支援（配食サービス）延べ34,406回、生きがい活動支援（デイサービス）延べ408回、軽度生活援助（ホームヘルパー）、延べ170時間の助成を行いました。 ・障がい者福祉サービス 複数・多様化する障がい者のニーズに対応するため、平成27年3月に第4期対馬市障害福祉計画を策定し、障がいのある方が安心して生活を営むことができる支援体制づくりを図っております。
	3. 評価	○
		<p>高齢者福祉サービスについては、高齢者と直接対峙する機会を増すことで安否確認を行い、高齢者の孤独死を未然に防ぐことに繋がっている。また、障がい者福祉サービスにおいては、職員の研修会等の参加により、知識と意識を高め、障がいをお持ちの方が安心してサービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り、スムーズな事務処理に心がけました。</p>
	4. 今後の展開	<p>高齢化の進展に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加していくことが推測されることから、高齢者が安心して生活ができる地域づくりを目指し、関係行政機関や市内外の様々な関係施設等との連携体制を図り、サービスの空白地をなくす支援体制の整備に努めてまいります。</p> <p>複雑・多様化しつつある障がい者ニーズに対し、柔軟に対応できる庁内体制を整備するため、各種研修の充実等を図り、職員の福祉意識の向上に努めます。</p>

全体	25
個別	05-02

平成28年度 [福祉保険部] 目標の成果

課名	こども未来課
----	--------

No.	項目	保育料収納率の向上				
	1. 組織目標					
	【内容】	<p>対馬市未収入利用者負担額事務取扱要綱及び対馬市子どものための教育・保育に関する利用者負担額の特別徴収に関する規則に基づき滞納処分の強化を図り、各担当者との連携を密に行いながら早めの徴収を念頭に収納率の向上を目指します。</p>				
	【指標】	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">現年分収納率</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td>滞納分収納率</td> <td>65.0%</td> </tr> </table>	現年分収納率	99.0%	滞納分収納率	65.0%
現年分収納率	99.0%					
滞納分収納率	65.0%					
	2. 実績(成果)					
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">現年分収納率</td> <td>99.5%</td> </tr> <tr> <td>滞納分収納率</td> <td>16.0%</td> </tr> </table>	現年分収納率	99.5%	滞納分収納率	16.0%
現年分収納率	99.5%					
滞納分収納率	16.0%					
	3. 評価	△				
		<p>現年分は目標を達成したが、滞納分は大幅に目標を下回りました。</p>				
	4. 今後の展開					
		<p>対馬市未収入利用者負担額事務取扱要綱及び対馬市子どものための教育・保育に関する利用者負担額の特別徴収に関する規則に基づき滞納処分の強化します。</p> <p>また、こども未来課を中心に、各担当者との連携を密に行うとともに、戸別訪問等徴収体制の強化を図ります。</p>				

全体	26
個別	05-03

平成28年度 [福祉保険部] 目標の成果

課名	こども未来課
----	--------

No.	項目	ペアリング（職員相互の連携）体制の強化による適正な支援サービスの提供
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>通常業務におけるチェック体制とバックアップを行うための協力体制の確立を図ります。</p> <p>○各業務における問題点や課題を把握し、常に迅速な対応を行うための体制づくりを心がけます。</p> <p>○業務内容を熟知し、各担当の役割や連携体制を検討します。</p> <p>○常にコミュニケーションを取り、迅速な対応と事務の効率化を図ります。</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>※ 苦情「ゼロ」に向けた体制づくり</p> <p>○担務の見直しを行うことにより、他者の業務への理解と窓口対応の向上を図りました。</p> <p>○各行政サービスセンター、住民生活課、福祉保健センターの担当者との情報の共有を随時行うことにより、市民への行政サービスの向上を図りました。</p> <p>○パソコンを通して課内の行事予定を共有し、常にコミュニケーションを取ることに心がけました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>課内のチェックやバックアップ体制の強化はもちろん、他庁舎の担当者との情報の共有を十分とは言えないまでも、ある程度図ることができ、市民へのサービスの向上が図られました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>なお一層のペアリング（職員相互の連携）体制の強化を図り、市民への行政サービスの向上に努めます。</p>	